



都留市の企業×SDGsの未来

家でもない、職場でもない、サードプレイス（第三の居場所）

問合先 企画課 企画担当

SDGsに取り組んでいる市内企業を都留文科大学学生が実際に訪問・取材し、皆さんに紹介！第3弾は「山梨泊まれる温泉 より道の湯」を運営する、WAYSリゾートホテル(株)に迫ります。



1 「地元への恩返し」の思いを取り組みに

より道の湯は、「アクセスの良さ」「心地よい空気感」などを大切にして、年齢に関係なく自分の居場所を見つけられる“サードプレイス”の提供を理念に掲げ、毎日100人以上の地元常連客が訪れています。

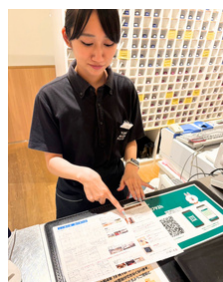
地元業者から購入した食材を料理に使用したり、施設を利用した方が近隣の飲食店を観光で訪れたり、地域経済の活性化にも大きく貢献しています。



◀心地よく過ごすことができることを意識した施設

2 雇用創出と評価制度による「働きがい」

より道の湯は多くの雇用も生んでいます。スタッフのうち約50名は大学生のアルバイト。年齢や勤続年数に関係なく、一人ひとりの個性や得意分野を正しく把握し、頑張りを公平に評価する昇給制度により働きがいのある職場となっています。



◀ホスピタリティを意識しながらアルバイトに励む大学生

3 バリアフリー・環境保全の取り組み

バリアフリーの面では、車いすの貸し出しやスロープの設置により、誰もが利用しやすい環境が整っています。また、杖を使う方が入浴する際にスタッフが杖を拭くなど、身体の不自由な方にもきめ細かな配慮をしています。

節水型シャワーヘッドの導入やフロントで必要な分だけアメニティを提供する仕組みにより、環境負荷軽減を目指しています。さらにフードロス対策として、賞味期限が近い食品を従業員のまかないとして活用することにも取り組んでいます。



▲ 車いすは貸し出し可能

学生からの一言

より道の湯を創業する理由になった「地元貢献したい」という思いは、取り組みの随所で発見できました。また、『これをやらせてください』と情熱を持って仕事に取り組んでいた学生の姿が印象に残っている」という支配人のお話からは、従業員の「お客さまに感動してほしい、満足してほしい」という想いを評価制度できちんと受け止め、それがさらなる働く意欲につながっていることが伝わってきて、感銘を受けました。

取材者：都留文科大学
平松 敬汰郎、小林 麗葉

取材先：WAYSリゾートホテル(株)
(都留市つる1-13-31)

支配人 渡辺 和哉

WAYSリゾートホテル(株)
のHPはこちらから▶



WAYSリゾートホテル(株)のSDGsのポイント



3. すべての人に健康と福祉を

「サードプレイス」として誰もが健康で心地よく過ごせる環境を提供



8. 働きがいも経済成長も

従業員の努力を公平に評価する仕組みが働きがいのある職場を実現



11. 住み続けられるまちづくりを

地元の観光資源を活かして、地域経済とまちの魅力づくりに貢献

都留市ではSDGs宣言事業所を募集しています。

「都留市SDGs宣言事業について」市HP▶

取材協力：地域活性化企業人

宮川 清希 (株)ニコン日総プライム

